

Chairman's Message

会長メッセージ

“トヨタは、創業以来のモノづくりの精神に立ち返り、豊かな社会と地球環境の未来に貢献する新しいクルマ社会を構築してまいります。”

取締役会長 張 富士夫

トヨタの当期(2009年3月期)は、米国における金融危機に端を発した未曾有の世界的な経済危機の影響を大きく受け、残念ながら、創業以来となる赤字となりました。株主・投資家の皆さまをはじめ、お客さま、取引先の皆さま、地域社会など、当社を支えていただいている、あらゆるステークホルダーの皆さまには大変なご心配をおかけしましたことを心よりお詫び申し上げます。トヨタは一日でも早い業績回復に向け、新たな決意で経営に取り組んでまいりますので、今後の成長にご期待いただけますようお願い申し上げます。

現在、自動車産業を取り巻く経営環境は非常に厳しいものですが、国際社会における自動車メーカーの影響力を考えますと、果たすべき役割の重さを痛感いたします。トヨタの責務は、世界中のお客さまに喜んでいただける魅力あるクルマづくりに全力を傾注することです。特に世界的規模で進む環境保全への対応については、従来から取り組んでいるハイブリッドを中心とした環境対応技術の開発をさらに加速してまいります。

加えて、トヨタは世界各国で地域に根ざした事業活動を展開し、その国々の豊かな社会や経済発展、そして地球環境の未来に貢献する企業であり続けたいと考えております。そのためには、雇用を確保し、教育と訓練を通じて人材を育て、あらためてトヨタのモノづくりの根幹である「現地現物」を見つめ直すことで、トヨタグループの社員一同がモノづくりの精神や価値観を共有していくことが重要です。

このような中で、トヨタは、2009年6月より、新体制での経営がスタートしました。これまで以上に現場を重視した新たな経営陣とともに、より良いクルマづくりに注力し、グループ全体の体質改善と人材育成の強化に取り組んでまいります。

今後も、真摯かつ果敢な経営を推し進めることによって安定的な成長を回復させ、企業価値のさらなる向上を果たしてまいりますので、株主・投資家の皆さまにおかれましては一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2009年7月

取締役会長

張 富士夫